

評価シート（年度評価）

名古屋市熱田荘の管理運営状況（令和3年度）

1 基本情報

<所管局:健康福祉局>

指定管理者	社会福祉法人 芳龍福祉会		
主な業務内容	保護施設（宿所提供施設）の管理運営		
評価対象期間	令和3年4月～令和4年3月	指定管理期間	平成29年4月～令和5年3月

2 評価結果

評価項目		評価区分	特記事項
1 基本事項	(1) 平等利用	入所にあたって不公平が生じていないか。	福祉事務所からの入所依頼に対して、積極的に受け入れる姿勢が見られた。
	(2) 情報管理	情報の管理・保護が適切になされているか。	
	(3) 職員体制	職員の配置、勤務実績、労働環境等は適切か。	
	(4) 法令等の遵守	法令、協定書等を遵守しているか。	
	(5) 関係機関等との連携	関係機関等との連携が図られているか。	
	(6) 事故・災害等への対策・対応	事故・災害等発生時の対策・対応が行われているか。	
2 維持管理	(1) 建物・設備の保守点検	建物・設備が適切に管理されているか。	施設機能の維持のため保守・修繕等が実施されている。
	(2) 衛生管理	衛生管理が適切に行われているか。	
	(3) 備品の管理	備品が適切に管理されているか。	
3 サービス	(1) 利用実績	利用実績は適切か。	入所世帯への援助を中心に、適切なサービスが提供されている。
	(2) 事業実施状況	事業計画に沿った事業が実施されているか。	
	(3) 利用促進	利用促進のための基本姿勢が認められるか。	
	(4) 援助内容	入所世帯への援助は適切に行われているか。	
	(5) 付随事業	付随事業は適切に実施されているか。	
	(6) 苦情・要望の把握・対応	利用者の意見、苦情を受けて、迅速に対応できているか。	
4 経費等	(1) 執行状況	指定管理料は適正に執行されているか。	指定管理料は適正に執行されている。
	(2) 再委託	再委託の内容・方法は適正か。	

【総合評価】

所管局のコメント・特記事項等
<p>入所者の多様な課題に対して、福祉事務所や関係機関との円滑な調整を行い、利用者及び関係機関職員が利用しやすい環境づくりに努めていた。また、援助内容についても、少ない人員配置ながらも、一週間に一度は面接を行う等入所者のニーズに配慮した支援を行っていた。</p> <p>各実施機関からの入所依頼に関しては、依頼内容の緊急性に鑑み、入所する順番に優先順位を付ける等迅速な対応と実施機関のニーズに応えるための取り組みが見られた。</p>

# 施設の現状

## 名古屋市熱田荘

施設の現状	施設概要							
	生活保護法に基づく宿所提供施設として、住居のない世帯に対して住宅扶助を行うことを目的とする施設です。 新型コロナウイルス感染症の影響により、指定期間を1年間延長しました。							
	市の収支状況(千円) (3年度決算見込み額)							利用料金
	支出			収入				
	指定管理料	その他	計	使用料	その他特定財源	一般財源	計	-
	28,877	0	28,877	3	2,065	26,809	28,877	
	特記事項							
	市の収支状況内訳 (支出)28,877,000円 (収入)(国庫)2,047,500円(一般財源)26,808,731円(使用料)2,600円 (弁償金)18,169円							
	管理運営指標の状況	取組状況						
		指標	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
入所率(年間延べ実入所者数の合計を定員で割り戻したもの)		%	63.3	56.8	51.2	45.1		
特記事項								
令和3年度は前年度と比べて入所率が低下した。								

※支出のうち「その他」欄は、経常修繕費等を記載

(指定期間を通じた評価)

## 名古屋市熱田荘における指定管理者の管理運営実績

### 1 基本情報

<所管局：健康福祉局>

指定管理者	社会福祉法人 芳龍福祉会		
主な業務内容	保護施設（宿所提供施設）の管理運営		
評価対象期間	平成29年4月～令和4年3月	指定管理期間	平成29年4月～令和5年3月

### 2 管理運営状況（評価結果の推移）

評価項目	評価区分					特記事項
	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	
1 基本事項	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	・ 不当な入所拒否をせず、多様な世帯を積極的に受け入れている。
(1) 平等利用	○	○	○	○	○	
(2) 情報管理	○	○	○	○	○	
(3) 職員体制	○	○	○	○	○	
(4) 法令等の遵守	○	○	○	○	○	
(5) 関係機関との連携	○	○	○	○	○	
(6) 事故・災害等への対策・対応	○	○	○	○	○	
2 維持管理	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	・ 施設機能の維持のため保守・修繕等が実施されている。
(1) 建物・設備の保守点検	○	○	○	○	○	
(2) 警備業務	○	○	○	○	○	
(3) 清掃業務	○	○	○	○	○	
(4) 備品の管理	○	○	○	○	○	
3 サービス	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	・ 各関係機関との連携を良好に保ち、入所者へ提供するサービスの向上に努めている。
(1) 利用実績	○	○	○	○	○	
(2) 事業実施状況	○	○	○	○	○	
(3) 利用促進	○	○	○	○	○	
(4) 処遇内容	○	○	○	○	○	
(5) 付随事業	○	○	○	○	○	
(6) 苦情・要望の把握・対応	○	○	○	○	○	
4 経費等	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	・ 指定管理料は適正に執行されている。
(1) 執行状況	○	○	○	○	○	
(2) 収支状況	○	○	○	○	○	
(3) 再委託	○	○	○	○	○	
年度ごとの総合評価（所管局のコメント・特記事項等）						
29年度	名古屋市全体の生活保護の相談者数は減少しているが、入所者の抱える問題は多様化しているため、職員会議等により、適宜支援方針の見直しをするなど、適切な支援が実施されている。また、福祉事務所や関係機関との積極的な調整により、利用者及び関係機関職員が利用しやすい環境づくりに努めている。					

30年度	入所者の多様な課題に対して、福祉事務所や関係機関との調整により、就労支援員等の外部の支援を積極的に活用することで適切な支援を実施し、利用者及び関係機関職員が利用しやすい環境づくりに努めている。また、地域清掃を利用者ととともに年2回実施するなど、地域の社会貢献活動にも努め、全体的に良好な施設運営がなされている。
元年度	入所者の多様な課題に対して、福祉事務所や関係機関との円滑な調整を行い、利用者及び関係機関職員が利用しやすい環境づくりに努めている。また、援助内容についても、少ない人員配置ながらも、面接を行ったりしながら入所者に寄り添った支援を行っている状況が見られた。
2年度	入所者の多様な課題に対して、福祉事務所や関係機関との円滑な調整を行い、利用者及び関係機関職員が利用しやすい環境づくりに努めていた。また、援助内容についても、少ない人員配置ながらも、一週間に一度は面接を行う等入所者のニーズに配慮した支援を行っていた。 また、付帯事業である一時保護所の入所効率を向上させるため、入所手続きの方法等が検討されていた。入所率の増加と効率向上に期待したい。
3年度	入所者の多様な課題に対して、福祉事務所や関係機関との円滑な調整を行い、利用者及び関係機関職員が利用しやすい環境づくりに努めていた。また、援助内容についても、少ない人員配置ながらも、一週間に一度は面接を行う等入所者のニーズに配慮した支援を行っていた。 各実施機関からの入所依頼に関しては、依頼内容の緊急性に鑑み、入所する順番に優先順位を付ける等迅速な対応と実施機関のニーズに応えるための取り組みが見られた。

### 3 利用状況等

#### 具体的な取り組みや成果等

他の保護施設に入所できなかった者等多様な問題を抱えたケースを積極的に受け入れている。

### 4 収支状況等

#### 具体的な取り組みや成果等

指定管理料は適正に執行されている。

### 5 利用者の意見や満足度等

#### 利用者の意見や満足度等の内容・推移

施設の老朽化による苦情が出ることはあるが、利用者アンケートにおける職員の接遇や相談対応に関する評価は、指定期間を通して良好である。

### 6 総合評価

#### 所管局のコメント・特記事項等

各関係機関との連携状況をはじめとして、良好な施設がなされている。  
入所者の抱える問題が多様化する中でも、きめ細かな支援を提供しており、施設の設定目的を果たそうと努めている。